

校長通信

Morifun

4週間弱の夏休みが終わり、新学期がスタートしました。東北北部では梅雨明けが特定されない異例の夏ですが、お盆前後から猛暑が続いています。さらにここ岩手県でもついに新型コロナウイルスの感染者が確認されました。島根県の高校では大規模なクラスターが発生し、大学でも運動部を中心に感染者の拡大が見られます。夏休み明けから昇降口にサーモカメラを設置しました。今まで通り健康チェックも続けていきます。コロナ禍の中で熱中症対策もしなければなりません。マスクの着用、手洗い、そして3密を回避するとともに、「3取る」①人との距離を取る②マスクを適切に取る③水分を取る 暑い日にはこれを5分～10分間隔で行うことを心がけてください。健康に留意して有意義な学校生活を！

<全校礼拝より>

旧約聖書 民数記 6章 24～26節

「主があなたを祝福し、あなたを守られるように。

主が御顔を向けてあなたを照らし／あなたに恵みを与えられるように

主が御顔をあなたに向けて／あなたに平安を賜るよう

に」
明日から夏休みです、大変な1学期でした。コロナ対応に追われ、学校も初めてのことばかりで、皆さんも苦

労したと思います。今、代替大会が開かれていますが、これまでの努力を発揮できますように祈っています。

今読んだ民数記の冒頭の一節、「主があなたを祝福し…」にある祝福は独特な言葉で、キリスト教の挨拶でよく使われます。「神の祝福がありますように」これは英語に訳すと、God bless you クリスマン同士の手紙では結びの言葉に使われることもあります。「神の祝福がありますように」という言葉を、礼拝の最後に言って、そして教会を出る。そして実生活に戻ってそこでベストを尽くす。

今日は” God bless you” という日本で作られた賛美歌を紹介します。2番目の歌詞には” God be with you” という歌詞も出てきます。「神と一緒にいてくれますように」「いつも共にいてくれますように」という意味です。

1 God bless you

神の御恵みが豊かに あなたの上に注がれますように
あなたの心と身体と すべての営みが守られ支えられ
喜び溢れるように わたしは祈ります

God bless you God bless you

God bless you God bless you

2 God be with you

神の御守りがいつでも あなたの上に注がれますように
あなたがどこにいても わたしは祈ります

God be with you God be with you

God be with you God be with you

(7月22日 終業礼拝・花巻教会牧師・鈴木道也先生)



新約聖書 コリントの信徒への手紙 12章14～26節

「体は、一つの部分ではなく、多くの部分から成っています。足が、「わたしは手ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。耳が、「わたしは目ではないから、体の一部ではない」と言ったところで、体の一部でなくなるでしょうか。もし体全体が目だったら、どこで聞きますか。もし、全体が耳だったら、どこでにおいをかぎますか。そこで神は、御自分の望みのままに、体に一つ一つの部分を置かれたのです。すべてが一つの部分になってしまったら、どこに体というものがあるでしょう。だから、多くの部分があっても、一つの体なのです。目が手に向かって、「お前は要らない」とは言えず、また、頭が足に向かって「お前たちは要らない」とも言えません。それどころか、体の中でほかよりも弱く見える部分が、かえって必要なのです。わたしたちは、体の中でほかよりも恰好が悪いと思われる部分を覆って、もっと恰好よくしようとし、見苦しい部分をもっと見栄えよくしようとし、見栄えのよい部分には、そうする必要はありません。神は、見劣りのする部分を一層引き立たせて、体を組み立てられました。それで、体に分裂が起こらず、各部分が互いに配慮し合っています。一つの部分が苦しめば、すべての部分が共に苦しみ、一つの部分が尊ばれれば、すべての部分が共に喜ぶのです。」

新しい学期が始まりました。皆さん、夏休みはどうだったでしょうか。新学期に際し、一つ詩を紹介します。吉野弘という詩人の「生命(いのち)は」という詩です。

生命は
自分自身だけでは完結できないように
つづられているらしい
花も
めしべとおしべが揃っているだけでは
不十分
虫や風が訪れて
めしべとおしべを仲立ちする

生命は
その中に欠如を抱(いだ)き
それを他者から満たしてもらおうのだ

世界は多分
他者の総和
しかし
互いに
欠如を満たすなどとは
知りもせず
知らされもせず
ばらまかれている者同士
無関心でいられる間柄
ときに
うとましく思うことさえも許されている間柄
そのように
世界がゆるやかに構成されているのは
なぜ？

花が咲いている
すぐ近くまで
虻(あぶ)の姿をした他者が
光をまとって飛んできている

私も あるとき
誰かのための虻だったろう

あなたも あるとき
私のための風だったかもしれない
(詩集『風が吹くと』より 1977 年)

花というのは、めしべとおしべがあるわけですが、それだけでは不十分、欠如という言葉を使っていますが、足りないところがあるわけです。虫、虻とか、風が訪れて、そのめしべとおしべを仲立ちすることによって、新



しい生命が生まれていくわけです。私たちも自分一人が完璧で完結しているのではなく、それぞれ周りに短所とか弱さとか足りない部分を持っていて、そうやって互いに足りない部分を埋め合って、支え合っているんじゃないかと、そういう視点を私たちに伝えてくれている詩です。最後のところが素敵一節だと思います。「私も／あるとき／誰かのための虻だったろう／あなたも／あるとき／私のための風だったかもしれない」もしかしたら私たちも自分では気づかないけれど、周りに自然に誰かに支えられている、また誰かを支えているのかもしれない。皆さんもこの夏、部活動等、自分のやりたいことに取り組んできたと思います。勿論自分自身が一生懸命頑張ったということも大事ですが、もしかしたら自分で気づかないところで、誰かに支えられていたかもしれないし、自分が誰かを支えていたかもしれません。コリントの信徒への手紙のなかにも、同じことを伝えている箇所があります。体も色んな部分がありますが、その部分がそれしかできない働きを、役割をして支え合っています。私たち一人ひとりの関係性を伝えてくれているものと思われま。それぞれが自分にできること、自分にしかできない大切な役割があって、そうして支え合っている。私たちの目には、要らないように見えるかもしれないような弱い部分があるからこそ、分裂が起こらずにそれぞれ関与し合って一つになることができる。自分のなかの弱さ、短所と思える部分があるけれど、そのような短所を乗り越えていこうということも大事ですが、自分の目には足りないと思える部分が誰かと誰かを結び合わせているかもしれない、支えているかもしれない。聖書も弱さというものを否定してはいない、弱さというものも大切な働きをしているということを伝えてくれています。私たちの目には弱さと思えるものもむしろ必要なのです。私たちは自分の知らないところで誰かに支えられ、誰かを支えていることを胸にとめていきたいと思。 (8月17日始業礼拝・花巻教会牧師・鈴木道也先生)

<この夏を振り返って>

コロナ禍でたくさんのが失われた夏でしたが、関係の方々の力添えで「夏季岩手県高等学校野球大会」が開催され、**野球部**が準優勝に輝きました。甲子園がなくなり、モチベーションの持続が難しい中、3年生全員が選手として参加する記念すべき大会ともなりました。その他にも**陸上**が高総体の代替大会として県夏季大会が、**サッカー**も U-18 高校サッカー大会が行われました。軽米町で行われた**瀬川杯ソフトテニス大会**(男子)で下田・城内組が見事に優勝を果たしました。また、「さんさ甲子園」は中止となりましたが、「**安比でさんさ**」という独自の大会で9チーム参加の中で最優秀賞を受賞、**演劇部**は高文連演劇専門部県北・盛岡地区予選で9校中4位(3位までが県大会)という成績を残しました。

【野球部】夏季岩手県高等学校野球大会 (7/2~26)

1回戦 7-0 (五回コ) 江南義塾 2回戦 7-4 福岡
3回戦 12-0 (五回コ) 盛岡市立 4回戦 11-4 (八回コ)
盛岡一 準決勝 4-0 花巻東 決勝 1-4 一関学院

【陸上部】2020 岩手県夏季陸上競技大会 (7/4~5)

3000m障害①若林夢希③武蔵旭 5000m②大宮大虎

【サッカー部】岩手県 U-18 サッカー大会 (6/27~7/5)

1回戦 2-0 盛岡四 2回戦 0-3 盛岡誠桜

岩手県高体連は新人大会について開催に向けて調整していく旨を公表しています。種目によっては厳しい状況のものもありますが、何とか知恵を絞って、高校生アスリートの活躍の場を設けられればと祈念します。

今月の言葉

「この危機を乗り越えたとき、皆さんはきっと変わっているでしょう、よい方向に変わることができるかもしれません。もっと自覚を持った、もっと素晴らしい人間になることができるかもしれません。本を読み、考えることで、この孤独な長い日々を無駄に失われた時間にせず、有益で素晴らしい時間にしましょう。」(ドメニコ・スキラーチェ)